

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

2015年2月 顕現節

被献日にあたり

～教会の女性の働きを覚えて～

さて、モーセの律法に定められた彼らの清めの期間が過ぎたとき、両親はその子を主に献げるため、エルサレムに連れて行った。(ルカ 2:22)

司祭 ミカエル 小南 晃

教会暦において、2月2日は「被献日」と呼ばれる祝日です。この祝日は旧約聖書の規定に従い、幼子イエスが神殿で神に献げられたことを覚えるものです。冒頭の聖句に続いて「それは主の律法に、『初めて生まれる男子は皆、主のために聖別される』と書いてあるからである。

(ルカ 2:23)」と説明されていますが、これは出エジプト記 13:11 以下などに、出エジプトの際にすべての初子が撃たれるなか、イスラエル人の初子は小羊の犠牲によって死を免れたことを覚えながら、初子に代えて犠牲を神に捧げることが記されているものです。そしてこの出来事の内には、やがてイエスが十字架にかけられ、人類の罪の贖いのための犠牲として献げられることをも暗示されています。

また同時にこの日は、母マリアの清めを覚える日でもあります。「モーセの律法に定められた彼らの清めの期間が過ぎたとき」とは、レビ記 12 章 1 節以下にその規定が記されていますが、産婦は男児を出産後、清めの期間として計 40 日間が必要とされていました。降誕日 12 月 25 日から、これらの清めの期間が過ぎた日が 2 月 2 日ということになります。

レビ記の規定によれば、産婦は、この期間が完了するまで聖なるものに触れたり、聖所に詣でたりしてはならないとされていました。

そしてこの清めの期間が過ぎた後、定められた献げ物をして、汚れから清められるとされていました。ですからこの日は産婦マリアが清めの儀式を受けて、宗教的生活に復帰する日でもありました。このことからカトリック教会ではこの日を「聖母マリアお清めの日」とも呼んでいます。

清められるとは

しかし、この出産を汚れとする観念には問題があるでしょう。女性差別の温床ともなるものです。しかし古代においては出産後の産婦の身体の保護と回復の意味もあったのかも知れません。

また聖母マリアが清められるということについて言えば、これは旧約の規定に従って清められたことに重点があるのではなく、この日にシメオンという老予言者と神殿で会い、彼から祝福を受けた出来事、但し常識では祝福とは思えない言葉ではありますが、「あなた自身も剣で心を刺し貫かれます」という言葉を受けた点にあります。

シメオンの言葉はその後に成就してマリアは、今では聖母としての栄光を受けています。しかしこの世にあって、一人の母親としては耐え難い試練と苦しみ、悲しみを負う人生でした。

イエスを息子として愛する愛はイエスから斥けられ、そして最後は十字架上に息絶える息子イエスを見守らねばなりません。しかしマリアはその苦しみ、悲しみを全て味わい抜き、信仰によってイエスをキリストとして受け入れ、愛することによって聖母であることを証しているのです。それ故、常識的には受難の予言としか思えない「心を刺し貫かれます」というシメオンの言葉が、マリアが清められ、聖化されるという祝福の言葉となるのであります。

教会の女性の働き

被献日は婦人会創立記念日ですが、この日を創立記念としているのは、この「聖母マリアのお清め」に因んでのことと想像します。そしてこの場合も試練を通り抜けての聖化にその心があるのではないのでしょうか。

教会内では女性の様々な働きによって成り立っている多くのことがあります。「女性だから* *すべし」と言った感覚は、変えて行かなければなりません。この時に婦人会をはじめ、教会内の女性の働きを心に留め、その働きがさらに豊かな実を結びますようにお祈りしたいと思います。

定例集会

日 午前 7 時 早朝聖餐式
" 9 時 15 分 教会学校
" 10 時 30 分 聖餐式・説教
午後 6 時 夕の礼拝

火 午前 10 時 30 分 聖書研究会
土 午前 10 時 30 分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)